



山梨県理学療法士会会報誌

# SUPPORTERS

サポーターズ

No.131 2011 秋号

山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 666 名

施設数 98 (9月5日現在)



◆山梨県理学療法士会交流会 施設・新人紹介

## 山梨県理学療法士会交流会



▶第一回学術研修会



Contents

第46回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 山梨開催迫る… 2

特集 平成 23 年度 新人理学療法士紹介… 3 ~ 7

平成 23 年度 交流会報告… 7

各部活動報告… 8 ~ 10

スポーツPT部・生涯学習部・学術研修部

お知らせ… 11 ~ 12

公開講座部・地域連携部・事務管理局

リレーエッセイ Part 13… 13 ~ 14

原稿募集… 14

編集後記… 15

「supporters(サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち (造語) の意味です。





# 各部活動報告

## 社会局 スポーツPT部発

### 『第93回全国高等学校野球選手権大会山梨大会に関わり』

台風接近という悪天候の中、それさえも吹き飛ばすかのような、高校球児の熱い夏が今年もやってきました。

我々スポーツ理学療法部では、7月21日の準々決勝から、決勝戦までの3日間、1日5人体制で球場に入り、トレーナーとして関わらせていただきました。

今年で5回目になる関わりですが、毎年試合中のアクシデントへの対応、試合後のメディカルチェックやクールダウンの指導等を任されています。

今年は台風接近で準々決勝4試合が1日で行われましたが、比較的涼しい日が続いたことで熱中症などの大きなトラブルもなく試合も無事に経過することが出来ました！ 試合後にはパートナーストレッチの指導も行い、試合後で疲れているにも関わらず選手達には真面目に取り組んでもらえました。

今年の高校野球が無事に終わることが出来たのも、天気にも味方されたこともありますが、少なからずこれまでのスポーツ理学療法部の関わりのおかげであると信じています。今後も、スポーツ理学療法部として、病院外でも多くの活動を通して、選手達の障害予防に努めて行きたいと感じました。そして、日々の勉強を怠らず、様々な場面で活躍できたら嬉しいです。

最後に、このような機会を提供していただいた理学療法士会の先生方をはじめ、たくさんの方のご協力をいただき、ありがとうございました。今後とも、よろしくお願い致します。

湯村温泉病院 三井結香



## 平成26年高校総体におけるボランティア・スタッフ募集

山梨県理学療法士会では平成26年に南関東4都県で開催される全国高校総体に協力し、山梨の各会場では理学療法サービスを提供できるボランティア・スタッフを募集いたします。

山梨では陸上・卓球・サッカー・ボート・自転車・ホッケー・ウェイトリフティング・カヌーの8競技が予定されていますので相当数のスタッフが必要となります。少しでも興味のある方は是非ご協力をお願いいたします。

つきましては、スタッフ登録を行い詳細を検討したいと思いますので、下記要領で出来るだけ早急にご連絡をお願いいたします。

なお、現場で困らないための知識や技術の研修も随時行っていきますので、安心してご登録ください。

### 記

登録内容：氏名・所属・連絡先・PT経験年数・希望があれば種目等

連絡先：山梨県理学療法士会スポーツ理学療法部 小尾伸二・山内正樹

〒409-3898 山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部

TEL 055 (273) 9805 FAX 055 (273) 8372 E-Mail sobi@yamanashi.ac.jp

## 新人教育プログラム活動報告 I

平成23年度、新人教育プログラムが始まりました。6月7日、29日に行われた講義では、山梨県理学療法士会会長、谷村英四郎先生のお話から始まり、石和温泉病院の古屋正樹先生、巨摩共立病院の小林伸一先生、北杜市立甲陽病院の川野正己先生に講義して頂きました。これまでの山梨県理学療法士会の歴史や生涯学習システム、法律、リスク管理、運動療法といったお話を頂き、興味を持ちもっと知識を深めていきたいと思いました。そして、働く職場は違っても同じ年にPTになった仲間たちと切磋琢磨して、山梨県を盛り上げていけたら良いと思いました。

山梨リハビリテーション病院 若月 彩

## 平成22年度新人教育プログラム修了率 全国2位!!

平成23年度関東甲信越ブロック新人教育担当者会議で山梨県が新人教育プログラムの修了率が全国2位(68%)でした。これも、皆様の日頃からの自己啓発活動の賜だと思っております。来年度も、多くの修了者が輩出できますよう、皆様のご協力よろしくお願いたします。

- 問い合わせ先：学術局生涯学習部 遠藤公士  
(山梨リハビリテーション病院理学療法課内 TEL 0553-26-3030)



### 2010年度新人教育プログラム修了者へのお知らせ

2010年度より新人教育プログラム修了書が協会から郵送されます。まだ、修了書が届いていない先生がおられましたら、生涯学習部までご連絡をください。「山梨県理学療法士会」→「生涯学習」→「専門領域研究部会登録申込書」より、必要書類が取得できます。

### 新人教育プログラム修了者へのお知らせ

今年度より、協会への新人教育プログラム修了の手続きが毎月可能となりました。新人教育プログラムが修了した際には生涯学習部まで生涯学習手帳をお送りください。

### 専門領域研究部会への登録をお願い

専門領域研究部会登録がお済みでない先生方は、「専門領域研究部会登録」の手続きをお願い致します。必要書類に関しては、山梨県理学療法士会のホームページにも掲載してありますのでご確認ください。詳細につきましては、理学療法士協会のHPをご確認ください。

- 問い合わせ先・郵送先  
山梨リハビリテーション病院  
〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松 855 遠藤公士・小林 遼  
e-mail : end\_koji@yahoo.co.jp TEL : 0553-26-3030 (内線 : 500)



## 第1回学術研修会報告 (参加人数 1回目:76名 2回目:75名 3回目:69名)

- 日 時 1回目:平成23年7月14日 2回目:平成23年7月21日 3回目:平成23年9月7日
- テーマ 「口腔内における喀痰吸引等の吸引」 - 他職種と連携し安全な口腔内の一時的吸引を実施するために -
- 講 師 山梨県立大学 看護学部 教授 遠藤 みどり 先生

平成23年7月14・21日、9月7日、第1回学術研修会が山梨県立大学において開催されました。山梨県立大学看護学部の遠藤みどり先生を講師に迎え、「口腔内における喀痰吸引等の吸引」をテーマに、講義・実技指導をしていただきました。

講義では吸引の目的・口腔内の解剖生理、吸引時のリスク管理などの基礎知識を学びました。実技ではデモンストレーションを実施していただき、続いて吸引の一連の流れを実際に行ないました。緊張と不安でぎこちなさがありながらも、先生方に近くで確認していただきながら、吸引を体験することが出来ました。

今まで吸引の場面を見ていることしか出来ず、どう関わったらいいか、出来ることはないかと悩むこ

ともありました。今回の研修会を通し、まずは吸引時の準備や患者の観察などの安全確保から関わっていきたいと思いました。そして、今後も吸引についての研修を重ね、臨床現場において、呼吸理学療法を交えながら、吸引を行なえるようになればと思います。貴重な研修会を開いていただき、本当にありがとうございました。



甲州リハビリテーション病院 荒川 あかね

## 第2回学術研修会報告 (参加人数 71名)

- 日 時 平成23年8月28日(日)
- テーマ 「物理的刺激(温・冷・電気)を理学療法に活かす ～痛み、関節拘縮、筋機能障害を中心として～」
- 講 師 東京工科大学 菅原 仁 先生

平成23年8月28日(日)、山梨市民会館にて第2回学術研修会が開催されました。『物理的刺激(温・冷・電気)を理学療法に活かす ～痛み、関節拘縮、筋機能障害を中心として～』をテーマに、東京工科大学の菅原仁先生を講師に迎え、講義と実技をしていただきました。

講義では疼痛・関節拘縮、神経・筋機能障害や物理的刺激についての基礎知識、変化の検証や比較等の話を聞かせていただきました。ケーススタディも交え、臨床の場面を想定して治療を考えることができました。そして、実技では疼痛やROM制限に対する実際の治療を行っていただきました。

疼痛・ROM制限・筋機能障害、そのどれもが日常的な臨床場面で身近にあり、解剖・運動・生理学の重要性を再認識しました。また、物理的刺激に対する知識・理解を深めた上で治療の中でどのように活かしていくのか考えていくことの大切さを学びました。菅原先生が臨床場面で実際に治療されている話も聞かせていただくことができ、物理療法について大変関心の高い研修会でした。



石和共立病院 山崎 友紀

- 問い合わせ先:学術局学術研修部 名取大輔  
(甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131)

お知らせ

## 平成23年度 山梨県理学療法士会公開講座について

- 日 時：平成23年11月13日(日) 14:00～(13:30開場)
  - テーマ：車椅子からの出発(たびだち)～絶望の淵から這い上がるまでの軌跡～
  - 講 師：鈴木ひとみさん  
(ユニバーサルデザインの商品開発・モデル、パラリンピック日本代表(射撃)、エッセイスト)
  - 対 象：どなたでもご参加いただけます。
  - 会 場：かいてらす 3F大ホール(山梨県地場産業センター)
  - 問い合わせ先：企画局公開講座部 井村  
(恵信甲府病院リハビリテーション部内 TEL 055-223-7333)
- ※会員の皆様には後日、案内の文書を送付させていただきます。多くの皆様のご参加宜しくお願い申し上げます。

### 鈴木ひとみさんプロフィール

#### ■職歴・経歴

- 1962年 大阪府生まれ
  - 1981年 「ミス・インターナショナル日本大会」において、82年度ミス・インターナショナル準日本代表に選出され、同年モロッコで行われた「ミス・ネーション世界大会」に出場し、ミス・エレガンスに選出される。
  - 1983年 上京後、ファッションモデルとして活躍。また、TBS「世界まるごとHOWマッチ」のアシスタントとしても活躍する。
  - 1984年 交通事故に遭い頸椎を骨折し、車イス生活を余儀なくされる。
  - 1985年 身障者の国体(鳥取)に出場し、2種目(スラローム・60m)に大会新記録で見事優勝する。
  - 1987年 「国際競技大会(車椅子競技の世界大会)」で金メダルを獲得する。
  - 2002年 世界射撃選手権にライフル競技で出場する。
  - 2004年 アテネパラリンピックに射撃の日本代表選手として出場。
- 現在は、執筆・講演活動の他、洋服メーカーのモデルとアドバイザー、企業のバリアフリーコンサルタントとしてアドバイスなどを行っている。

#### ■主なマスコミ活動

NTV「スーパーテレビ」で『車椅子の花嫁の15年』として放送される他、「徹子の部屋」「クイズ\$ミリオネア」「ザ・ベストハウス1・2・3・」等テレビ番組に多数出演。

#### ■著書

『命をくれたキス』(小学館)日本の他、中国・韓国でも翻訳されている。  
『一年遅れのウェディングベル』『気分は愛のスピードランナー』



## 地域連携部より

### ●理学療法士を目指す生徒の進路相談窓口開設●

9月中旬をめどに理学療法士を目指す生徒の進路選択に際する一助として士会HPにある相談窓口をFAX対応できる様に整備し、その周知を県内の各高等学校の関係各位へ行っていく方針です。

### ●地域理学療法研修会会場の決定●

平成23年11月6日に予定されている地域理学療法研修会の会場は、健康科学大学 B棟に決定いたしました。

## 事務管理局より

### ●変更手続きについて●

会員データに変更（異動・休会・復会・退会）がありましたら、届出が必要になります。HPに、各種届出用紙があります。郵送にて、早急に手続きを行って頂けるようお願いいたします。

**入会をされていない新人会員の方は、会員登録するようお願いいたします。**

- 異動（勤務先変更・自宅住所変更・改姓・転出入等）が生じた場合は、速やかに事務局へ異動届をご提出ください。
- 各種届出用紙（異動・休会・復会・退会）は協会HP及び士会HPにてダウンロードできます。
- 県外異動については、異動前及び異動後の各都道府県士会事務局へ提出下さい。
- 提出時には捺印のご確認をお願いします。（捺印がない場合、処理致しかねます）

### ●慶弔申請の窓口は事務管理局です●

慶弔事項（一親等及び配偶者）が発生しましたら、電話番号・住所等を事務管理局まで速やかにご連絡をお願いします。

### ●会員証のお申し込みはお済みですか●

会員証は今後、研修会・選挙等の参加の際に必要となります。協会も推進しており、皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ●財務部より：楽天カードへの切り替え●

現在、日本理学療法士協会からの通知の通り楽天カードへの移行・会費納入方法の切り替えが行われています。

ニコスカードをお持ちの方はお手数料をおかけしますが、楽天カードへの切り替え等変更等、変更手続きへのご協力をお願い致します。

ご不明な点につきましては、下記の問い合わせ先にご確認下さい。

### ●問い合わせ先：事務管理局 斎藤

（甲府城南病院リハビリテーション科内 TEL 055-241-5811）

# リレーエッセイ ～途絶えることのない バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員のひろば」と違い、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

## Part13-1

国立病院機構甲府病院 浅野厚雄

山梨県立あけぼの医療福祉センターの笹本高央先生からバトンを預かりました国立病院機構甲府病院の浅野厚雄です。

私は以前からタイ式マッサージに興味があったので、昨年の夏休みにタイ王国のバンコクでタイマッサージ教室に通ってきました。教室は、5日間の初心者向けコースで、先生はベテランのタイ人の先生、そして他の日本人受講生2人と共にタイ語と日本語が入り混じる中で教室は始まりました。

まず、タイマッサージの歴史や概念、そして「セン」という体内のエネルギーが流れるという経路について座学で2時間程学びます。そして、その後はひたすら実技の指導と練習が続きました。実技は、センのある部位を下肢から順に押ししたり、もんだり、つかんだりしながら、下肢や体幹のストレッチも行いつつ、体幹から上肢へと進み最後に後頭部で終わるというものでした。このように実技練習は、初心者向けとはいえ全身のタイマッサージを覚えなければならず、しかも最終日にはテストもあるということで、朝9時から夕方5時までの練習はけっこう疲れるものでした。しかし、最終日には何とか修了証をいただくことができ、終わってみれば充実した5日間となりました。

昼はタイの伝統を心身で学び、夜は本場のタイ料理をいただく、観光に飽きたときなどこんな旅行もいかがでしょうか。

今回は、『山梨リハビリテーション病院の嶋田浩平先生』へ

バトンをお渡しします。





## Part13-2

健康科学大学健康科学部理学療法科 金 承 革

河口湖へ赴任してきて5年目になります。先日、誕生日を迎え44歳になりました。もう中年ですね、あっという間に時は過ぎてしまいました。

リレー（繋げる）エッセイ（随想）ということで、最近感じていること、考えていることを書いてみます。私の後に書かれる方にリレーになるかどうか不安ですが、チャレンジしてみます。

30歳代後半から40歳代に入って強く思うことは、組織の中で自分がどう働くかを考えられるかが重要であるということです。ピーター・F・ドラッカーという人物をご存知でしょうか。漫画あるいは映画「もしドラ」の題材になっている経営の哲人なのですが、もしドラが出る前から、私はピーター・F・ドラッカーの著書をいくつか読んでいました。ドラッカーが書いている著書の中では、「プロフェッショナルの条件」というのが読みやすく、興味深いです。理学療法士にも通じる話ですので、是非読んでみてください。少し紹介すると、組織とは、ある目的を果たすための機能を持つ機関であり、個人では中々実現できないことを集団で補いながら実現していくものである。とドラッカーは言っています。組織は、単なる命令を下して個人を従わせるものではなく、個人の夢や要望を把握して集約し、個人に責任を持たせて仕事をさせて、その結果として組織全体がより良く目的を達成していくようにするものだ。とドラッカーは述べています。強い組織ほど、このように動いていると言っています。病院も、政府も、家庭も、リハビリ部門も、整形外科医局も、全て組織としてみなすことが出来ます。若い人には、“何のことやら？”でしょうか。興味を持った方は、是非ご一読を。歳を取って管理職になっていくと、自然に考えなければならなくなります。早めに知っておくと、何かと良いことが多いです。

歳をとると、具体論も大切ですが、ありとあらゆるものに共通する概念、すなわち普遍的なものに興味関心が強くなってきます。普遍的なものを見つけられないと困ることが多いのです。上手く歳を取りたいものです。

今回は、『富士温泉病院の小野寺智予先生』へバトンをお渡しします。

## 原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。

テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※第132号発行は、12月下旬を予定している為、締め切りは、11月下旬です。

問い合わせ先：広報局 会報部 菊池 悟

（一宮温泉病院 いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255）

E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp

## 編集後記



いつもご愛読頂きありがとうございます。会報部員で日々編集作業・発送準備等を進めて参り、各関係者のご協力のおかげで、何とか無事本年度第二号の会報誌「supporters」を皆様の元へお届けすることが出来ました。本年度も、多くの新人会員の皆様が入会され、交流会の様子も掲載させていただきましたが、本号が発行される頃は、入職から約6ヵ月が経過し、仕事・生活も落ち着いて来た頃であると思われます。そんな新人会員の方々を始めとし、会員皆様一人一人にとって有益な会報誌作成を今後会報部一同、心がけて行きたいと思っております。今後も、県士会での皆様の活動を中心に行事等を掲載していく予定ですが、士会員の皆様のご意見、ご感想や掲載して欲しい情報等がありましたら連絡頂きたいと思っております。今後も、広報局(会報部)へのご協力の程宜しく申し上げます。

菊池 悟



- 発行 ● 山梨県理学療法士会
- 代表 ● 谷村 英四郎
- 企画・校正 ● 菊池 悟 水上 卓 小野 貴博 糸井 美里 矢崎 博美
- 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ
- 会報部 ● 〒405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井 1754  
いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255 / FAX 0553-20-5256  
一宮温泉病院 TEL 0553-47-3131 / FAX 0553-47-3434  
E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp